

七条中学校だより9月11号

京都市立七条中学校

令和8年9月15日

発行: 校長 林 秀雄

70 周年記念式典に向けて

今年度、七条中学校は開校 70 周年という大きな節目の年を迎えます。そして、10 月 6 日（火）には、70 周年記念式典を開催します。70 年という長い歴史は、これまで七条中学校で学んできた卒業生や、学校を支えてくださった地域の皆様、PTA の皆様、そして多くの教職員の方々の力によって築かれてきました。皆さんが毎日当たり前のように学校生活を送ることができるのも、多くの方々が陰で支えてくださっているおかげです。

私たちは、学校というと生徒と先生でつくられているように感じるかもしれませんが、しかし実際には、地域の方々が見守り活動をしてくださったり、PTA の皆様が様々な場面で協力してくださったりするなど、多くの方々の支えによって学校は成り立っています。

今回の 70 周年記念式典には、これまで本校の教育活動にご尽力いただいた PTA や地域の方々をお招きします。この機会に、七条中学校が多くの人々の思いや支えによって今日まで歩んできたことを知り、そのことに感謝する機会にしてほしいと思います。

現在、生徒会を中心に、70 周年を盛り上げるための取組も進められています。70 周年は、誰か一部の人のだけのお祝いではありません。今、七条中学校で学ぶ私たち一人一人が主役です。感謝の気持ちをもちながら、全校生徒で心をつなげて、思い出に残る 70 周年記念式典を創り上げていきましょう。

そして記念式典終了後には、七中祭のオープニングが行われます。七中祭は、体育の部、そして合唱の部に向けて、これまでそれぞれの学級や学年が努力を重ねてきた成果を発揮する大切な行事です。仲間と声を掛け合いながら練習してきたこと、時には意見を出し合いながらより良いものを目指して取り組んできたこと、その積み重ねの一つ一つが皆さんの成長につながっています。

70 周年記念式典では、七条中学校の歴史や多くの方々への感謝の気持ちを大切にするとともに、七中祭では皆さん一人ひとりがこれまでの取組の成果を思う存分発揮してほしいと願っています。七条中学校の 70 年の歩みを祝い、そして今の七条中学校を創る皆さんの力を存分に示すことのできる期間にしましょう。

AI の時代だからこそ大切にしたいこと

先日、OECD（経済協力開発機構）が発表した国際学力調査（PISA）の結果で、日本は OECD 加盟国の中で「数学・科学・読解力」の全ての分野で高い成果を収めました。日本の生徒の学力の高さが世界的にも評価されたことは、大変喜ばしいことです。

一方で、この調査では別のことも話題となりました。それは、日本の生徒は他国に比べて学校で AI を活用する機会が少ないということです。

現在、七条中学校でも一人 1 台の端末を活用して学習していますが、生成 AI を自由に利用することは認められていません。これは、AI が便利な反面、間違った情報を示したり、自分で考える機会を奪ったりする可能性があるためです。まずは自分の力で考え、学ぶことを大切にするためのルールです。

では、AI が使えない今、皆さんは何を大切にすればよいのでしょうか。それは、これまで学校で積み重ねてきた学びです。●授業で話を聞き、自分で考えること。●教科書や資料を読み、自分なりに理解すること。●友達と話し合いながら考えを深めること。●わからないことを先生や仲間に質問すること。こうした一つ一つの積み重ねが、今回の日本の高い学力を支えているのだと思います。

しかし、皆さんが大人になる頃には、社会の様々な場面で AI が活用されていることでしょう。その時に必要になるのは、「AI に頼る力」ではなく、「AI の示した情報を正しく判断できる力」です。●AI が示した答えが本当に正しいのか。●別の考え方はないのか。●その情報には根拠があるのか。こうしたことを考えるためには、読解力や思考力、判断力が必要です。そして、その力は日々の授業や読書、仲間との学び合いによって身に付けていきます。

七条中学校では、「人・学・和を大切にできる生徒」を目標としています。●人を大切にすること。●学び続けること。●仲間と協力すること。これらの力は、時代がどれだけ変わっても決して必要なくなることはありません。むしろ、技術が発達する時代だからこそ、その価値はさらに高まるのではないのでしょうか。

今は AI を利用できないからこそ、まずは自分の力で考え、学び、判断する力をしっかり身に付けてほしいと思います。その積み重ねが、将来 AI を活用する時代になったとしても、皆さんの大きな財産になるはずです。